

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | 藤沢市民館・労働会館等複合施設 | 階数 | 地下1階、地上5階 |
| 建設地 | 藤沢市本町1丁目1224番地1 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種住居地域・近隣商業地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 400人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 4,485時間/年 |
| 建物用途 | 集会所 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年3月 予定 | 評価の実施日 | 2017年2月24日 |
| 敷地面積 | 3,368㎡ | 作成者 | (株)梓設計 |
| 建築面積 | 2,458㎡ | 確認日 | 2017年2月28日 |
| 延床面積 | 7,916㎡ | 確認者 | (株)梓設計 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.8 ★★★★★☆

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

| | |
|-----------|------|
| ① 参照値 | 100% |
| ② 建築物の取組み | 83% |
| ③ 上記+②以外の | 83% |
| ④ 上記+ | 83% |

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

| | |
|-------|-----|
| 音環境 | 3.0 |
| 温熱環境 | 3.0 |
| 光・視環境 | 2.6 |
| 空気質環境 | 3.9 |

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

| | |
|---------|-----|
| 機能性 | 3.6 |
| 耐用性・信頼性 | 3.5 |
| 対応性・更新性 | 3.3 |

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

| | |
|-----------|-----|
| 生物環境 | 3.0 |
| まちなみ・景観 | 5.0 |
| 地域性・アメニティ | 3.0 |

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

| | |
|-----------|-----|
| 建物外皮の熱負荷 | 5.0 |
| 自然エネルギー | 4.0 |
| 設備システム効率化 | 4.7 |
| 効率的運用 | 3.0 |

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

| | |
|------------|-----|
| 水資源 | 3.8 |
| 非再生材料の使用削減 | 3.3 |
| 汚染物質回避 | 3.0 |

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| | |
|-----------|-----|
| 地球温暖化への配慮 | 3.6 |
| 地域環境への配慮 | 3.0 |
| 周辺環境への配慮 | 3.0 |

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|---|
| 誰もが使いやすい施設となるよう、エレベーター動線の確保やわかりやすい案内設備などのユニバーサルデザイン計画とするとともに、自然採光、自然通風、自然換気を確保するシステムや太陽光発電システムの配置等、環境に配慮した計画とします。 | 0 |
| Q1 室内環境 自然換気システムの導入 全館禁煙の実施 | Q2 サービス性能 豊富な倉庫、収納スペースの確保 ユニバーサルデザイン、バリアフリーの実施 多世代交流スペース等のリフレッシュスペースの確保 |
| Q3 室外環境(敷地内) 藤沢宿をイメージした外装デザインや素材選定 周辺環境に配慮した圧迫感のない立面構成 屋上緑化の確保 | |
| LR1 エネルギー 自然採光、自然通風、自然換気システムの導入 | LR2 資源・マテリアル 節水設備の導入 |
| | LR3 敷地外環境 自転車置場の確保 屋上設備機器からの騒音対策 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される